



～高齢者生活支援事業～

買い物ツアー（実証実験）を行いました



町づくり推進委員会の高齢者生活支援事業で検討を続けている買い物支援について、馬下集落をモデル地区として、6月24日（金）に実験的に買い物ツアーを行いました。

当日は、男女合わせて14名（平均年齢75.9歳）の参加があり、原信村上インター店へ貸切バスで向かいました。目的地へ着くと、飲食店へ昼食を食べに行く方や、衣料品を買いに行く方など各々お目当てのお店へ向かい、帰りの集合時間まで買い物を楽しんでいました。



今回は、日常生活においてある程度自立している方の参加に限定した為、日頃の買い物は今のところ困っておらず、当日は遠足気分ですーツアに参加し「楽しかった！」「また参加したい！」との声が聞かれました。

ツアー終了後にご協力いただいたアンケート結果によると、参加者全員が日頃の移動手段は自家用車での移動をしている方で、「現在は困っていないが、5年先10年先を考えると不安」とそう遠くない将来を心配する声が多く寄せられました。この結果を基に、これから地域活動部会会議で事業の進め方を検討していきます。

その為には、より多くの方の声（アンケート結果）が必要ですので、今回の馬下集落同様、買い物ツアーの実証実験へご協力いただける集落は、事務局までご連絡ください。



8月31日まで！！

～かみかいふ写真コンテスト応募作品募集中～

募集作品

- ・上海府地区の風景や行事の様子などをおさめた写真。
- ・令和2年9月1日以降に撮影した、自作で未発表のもの。
- ・大きさは、A4またはワイド六切まで。
- ・1人3作品まで応募可能。

※詳しくは、7月15日配布のチラシまたは村上市ホームページ内の町づくりページをご覧ください。

今年は、子ども部門新設！



海幸フェスタ2022を開催しました



上海府地区の特産物を利用したPR活動「海幸フェスタ」を3年ぶりに開催しました。感染症対策として今年は「サザエのつぼ焼き」の提供数を例年より減らした60食限定とし、事前に整理券を配布する方法をとりました。さらに、対象者を当日たまたま海水浴へ来た方として、宣伝用のチラシは制作せずに、周知はかわら版7月15日号へ掲載するのみとしました。その為、来場者の大半は海に遊びに来た家族連れやさまざまな買い物客となり、密になることもなく計画通りの1時間30分で60食の提供を終えました。来場者は、綺麗な景色を眺め、「美味しい〜！」と海の幸を堪能していました。



例年であれば、海幸フェスタを目的に遠方からお越しになる方も少なくなく、行列が絶えないほど多くの来場者で賑わいます。本来なら、そのように多くの方に上海府を訪れ、上海府を知って欲しいとの思いで活動を行ってまいりましたが、3年ぶりの開催となった今回は、地域の方のご理解ご協力のもと、この状況下で無事に開催することができたことに心から感謝を申し上げます。

今回は、受付を担当するスタッフにはビニール手袋を着用の上で接客していただき、さらに抗原検査キットを用意し、希望するスタッフに提供するなど、安心安全にイベントへ協力できる体制で臨みました。主催者側と来場者側のどちらも安心してイベントに参加できる方法を考えながら、少しずつ日常を取り戻すべく、これからも様々な形で地域の魅力を発信し続けてまいります。



ところで、皆さんだったら上海府のどんな魅力をPRしますか？「海幸フェスタ」だけでは伝えきれない地域の魅力を、お近くの委員や事務局へ、是非ともご提案ください。



～地区合同運動会について～

7月15日付けで回覧した「地区合同運動会についてのアンケート」に、たくさんの方にご協力をいただき、大変ありがとうございました。取り急ぎ、中間報告として現在提出のある7集落分の結果を右記のとおりお知らせします。

8集落全ての結果が揃いましたら、自由記入欄へ記載のあったご意見ご提案を参考に、町づくり推進委員会で協議を進めていきますので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ふれあい大運動会inかみかいふ(地区合同運動会)を今後どのようにしたら良いと考えますか？

【中間報告】 続ける：6名

どちらかという、続ける：15名

どちらかという、やめる：66名

やめる：262名

どちらでもよい：53名

地区の情報コーナー

～「ブラニイガタ」が上海府で開催されました～



ブラニイガタとは、NPO法人まちづくり学校主催の事業で、まちの魅力を発見するため、県内各地のまちを多くの人と一緒に巡る人気のまち歩きイベントで、7月16日（土）は上海府地区を会場にブラニイガタが開催され、企画やコーディネートはオレモオメモの皆さんが担当しました。

当日は、無事に天候にも恵まれ、まち歩き初心者の方から常連さんまで、関係者含め県内各地から20名以上が集まりました。主に、柏尾集落と間島集落を中心に歩き、集落住民の案内のもと、日頃は住んでいる方しか通らない迷路のような集落内も歩き、その地の歴史や文化、生活に触れることが出来ました。



途中、AGハウス（野瀨）で休憩をとり、間島駅～越後早川駅間は電車移動し、越後早川駅（早川）で解散後、さらに上海府連絡所（柏尾）まで徒歩で戻り、歩数は1万歩に上りました。毎日のように車で通る「いつもの道」でも、車では気付かない、歩くからこそ気付く「上海府」をたくさん発見することができました。

皆さんも、涼しい季節になったら、ウォーキングがてら近隣の集落内をじっくりと散策してみてもはいかがでしょうか。知っているようで知らなかった「上海府」を再発見できるかもしれません。



～敬老会に関するお知らせ～

今年度の上海府地区敬老会は式典を中止し、昨年同様、お弁当などを配布させていただきます。

敬老者の皆さんへは、9月19日（月・祝）に各集落の方がお弁当をお届けに行きますので、よろしく願いいたします。



熱中症にご注意ください！

連日、猛暑日が続いています。

のどが渇いていなくても、こまめな



水分補給を心がけ、外での作業は無理をせずに、エアコンや扇風機を我慢することなく活用し、涼しい屋内で過ごし、熱中症を予防しましょう。

砂丘短歌会 く今月の一首く

上海府かわら版では、上海府地区の短歌教室

『砂丘短歌会』の皆さんの作品を紹介しています。

短歌教室の皆さんの力作をご覧ください。



五時起床夫と歩いて釣り人の会津庄内挨拶交わす

(太田美也子)

雨上がり霧立ち込む夏山の緑の色は日ごと深まる

(小野静江)

さ緑の若葉ゆれいる峡の山葉うら返して初夏の風吹く

(井上スミ)

連日の猛暑に負けず茄子・胡瓜色どり添えて食を楽しむ

(佐藤良子)

初なりの胡瓜二本を吾前にかざして妻は得意げな顔

(鈴木昭作)

窓の外大きクレーンの作業船テトラの敷設暫し見とれり

(加藤五三子)

新型コロナウイルスの影響により、掲載の事業が急遽変更となる場合があります。不明な場合は、主催者へお問い合わせください。

今後の予定

8月の予定

28日 村上市 防災訓練

移動図書館巡回日

9月の予定

8日 むらかみ♡ささえ愛の日

10日 移動図書館巡回日



むらかみ互近所



ささえ～る隊コーナー



上海府の皆さんにとっては、大好きな大切な季節“夏”がやって来ましたが、それと同時に、戻り梅雨と新型コロナウイルス感染症が拡大した7月でした。畑をしている方にとって雨はありがたいものですが、感染症は、せっかく動き出した地域活動に水を差すことになったことも否定できません。

上海府地区では、町づくり推進委員会主催で6月に馬下集落をモデルに『買い物ツアー』が行われ、14名の方が参加されました。全員が運転免許証をお持ちの方で、買い物について“今は”困っていない方ばかりでした。でも、「いつどうなるかわからない、この先こんな『買い物ツアー』の仕組みがあれば安心だから」「5年先はわからない、こんな仕組みに助けられるはず」という思いで参加しておられました。

今から5年先、10年先を見据えた必要な取り組みを皆さんと一緒に広めて行きたいと、思います。こんなこと思っている、考えたい、したい等ぜひお気軽にご相談ください。よろしくお祈りします。



連絡先・村上市社会福祉協議会 地域福祉課 (☎62-7757)

【むらかみ互近所ささえ～る隊 佐藤小百合】